

# 歴史書に見る鞠智城 【鞠智城に関連する記録】

年号(西暦)	記事と内容	歴史書	天皇
645(大化元)年	大化の改新。律令制が確立(646年改新の詔発令)。	『日本書紀』	皇極天皇
663(天智2)年	朝鮮半島での白村江の戦いで、唐と新羅の連合軍に大和朝廷軍と百濟軍が敗れる。	『日本書紀』	天智天皇(称制)
664(天智3)年	筑紫などに防人と烽を置き、水城を築く。	『日本書紀』	天智天皇(称制)
665(天智4)年	筑紫に大野城・基肄城、長門に長門城を築く。	『日本書紀』	天智天皇(称制)
667(天智6)年	大和に高安城、讃岐に屋嶋城、対馬に金田城を築く。	『日本書紀』	天智天皇(称制)
698(文武2)年	大宰府をして、大野・基肄・鞠智の三城を繕治する。	『続日本紀』	文武天皇
858(天安2)年	(2月) 菊池城院の兵庫の鼓が自ら鳴る。 (6月) 肥後国菊池城院の兵庫の鼓が自ら鳴る。 (6月) 菊池城の不動倉十一棟が火災にあう。	『文徳実録』	文徳天皇
875(貞観17)年	カラスの群れが菊池郡倉舎の葦草をかみ抜く。	『三代実録』	清和天皇
879(元慶3)年	肥後国菊池郡城院の兵庫の戸が自ら鳴る。	『三代実録』	陽成天皇

## 鞠智城周辺案内図



### 温故創生館

鞠智城が築かれた時代とその役割について、展示と映像で学べる施設です。

2階には、公園全体を眺めながら休憩できるスペースもあります。

開館時間/ 9:30~17:15  
(入館は16:45まで)

休館日/ 月曜日  
(但し、祝祭日の場合は翌日)  
12月25日~1月4日

入館料/無料  
※ボランティアによる解説もあります。  
(見学日の2週間前までに要予約 無料)



## 国史跡 まくちじょう 鞠智城

熊本県立装飾古墳館分館  
歴史公園鞠智城・温故創生館

# 古代の丘にたたずむと、はるか悠久のロマン



①〈灰塚〉360° 大パノラマ、雲仙普賢岳も見えます。



②〈長者山展望広場休憩所〉くつろぎの空間です。



③〈南側土塁〉城の南側の防衛ラインです。



④〈温故創生之碑〉音声解説  
鞠智城のシンボルです。「温故」は「調査研究」、「創生」は「整備による利活用」を意味します。



⑤〈温故創生館〉鞠智城について学べます。



⑥〈鼓楼(八角形建物)〉歴史公園鞠智城のシンボルです。  
音声解説



⑦〈米倉(炊倉造(あぜくらづくり)の食糧庫です。



※熊本県では、県産材をふんだんに使用した建物の復元整備を行っています。

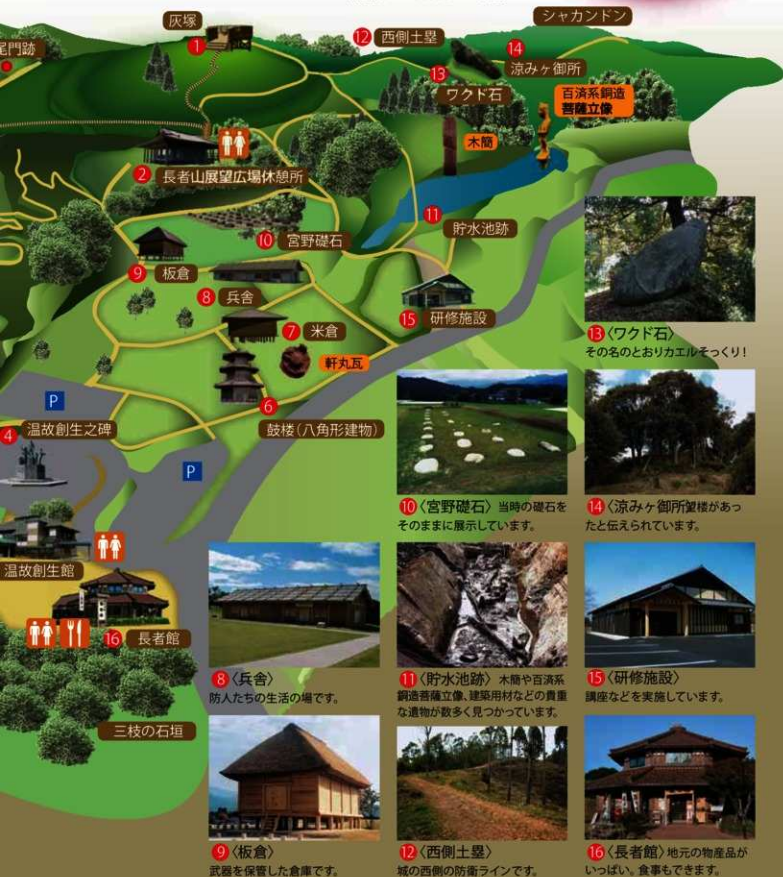
がよみがえる。



鞠智城イメージキャラクター「ころう殿」

# 国史跡 鞠智城

きくちじょう



# なぜ鞠智城はつくられたのか？

鞠智城は、7世紀後半(約1,300年前)に大和朝廷が築いた山城です。当時、東アジアの政治的情勢は、非常に緊張していました。日本は、友好国であった百濟を復興するため援軍を送りましたが、663年の「白村江の戦い」で唐と新羅の連合軍に敗北しました。このため、事態は急変し、直接日本が戦いの舞台となる危険が生じました。そこで九州には、大宰府を守るために大野城(福岡県)、基肆城(福岡県・佐賀県)、金田城(長崎県)が築かれ、鞠智城は、これらの城に食糧や武器、兵士などを補給する支援基地でした。



## ここまでわかった鞠智城

### 貯水池跡出土～百濟系銅造菩薩立像～

平成20年10月23日、貯水池跡池尻部から出土した銅造の菩薩立像(ぼさつりゅうそう)です。

ほぞを含む高さ12.7cm(像のみで9.7cm)、幅3.0cmの小型仏で、横から見ると、優雅なS字曲線を描いています。下部のほぞは台座に差し込むためのもので、太く造り出しているのが特徴です。

仏像は、丸みを帯びた穏やかな表情で、頭部に付けられた三面の頭飾、肩まで垂らした垂髪(すいまつ)、両肩にかけられた天衣(てんい)などがよく表現されています。また、持物(しもの)をへその前で両手で抱えるように持っています。

この菩薩像は、7世紀後半に朝鮮半島の百濟で造られたと考えられており、『日本書紀』の記述でもあるように、百濟の亡命貴族の指導で築かれたと考えられる「鞠智城」の歴史的背景を物語る貴重な資料です。



正面



側面



背面



# 熊智城

ふくちよん

熊智城



## 熊智城周辺案内図



### 熊智城創生館

熊智城が築かれた時代とその役割について、展示と映像で学べる施設です。

2階には、公園全体を眺めながら休憩できるスペースもあります。

開館時間/ 9:30～17:15  
 (入館は16:45まで)

休館日/ 月曜日  
 (但し、祝祭日の場合は翌日)  
 12月25日～1月4日

入館料/無料  
 ※ボランティアによる解説もあります。  
 (見学日の2週間前までに要予約 無料)

●お問い合わせ 〒861-0425 熊本県山鹿市菊鹿町米原443-1 TEL:0968-48-3178 FAX :0968-48-3697  
 HP <http://www.kofunkan.pref.kumamoto.jp/kikuchijo/> E-mail onnk osousei@pref.kumamoto.lg.jp

天皇	歴代書	記事と内容	年号(西暦)
天智天皇	『日本書紀』	朝鮮半島での白村江の戦いで、唐と新羅の連合軍に大和朝廷軍と百濟軍が敗れる。	663 (天智2)年
天智天皇(称制)	『日本書紀』	筑紫などに防人・烽を置き、水城を築く。	664 (天智3)年
天智天皇(称制)	『日本書紀』	筑紫に大野城・兼輝城、熊門に鹿門城を築く。	665 (天智4)年
天智天皇(称制)	『日本書紀』	大和に高安城、讃岐に屋嶋城、対馬に金田城を築く。	667 (天智6)年
天智天皇	『日本書紀』	大宰府をして、大野・兼輝・熊智の三城を統治する。	698 (文武2)年
文武天皇	『新日本紀』	(2月) 菊池城院の兵庫の鼓が自ら鳴る。	858 (天安2)年
文徳天皇	『文徳実録』	(6月) 肥後国菊池城院の兵庫の鼓が自ら鳴る。 (6月) 菊池城の不動尊十一権が火災にあう。	875 (貞観17)年
清和天皇	『三代実録』	カラスの群れが菊池郡倉倉の葦をかみ抜く。	879 (元慶3)年
陽成天皇	『三代実録』	肥後国菊池郡城院の兵庫の戸が自ら鳴る。	879 (元慶3)年

この電子書籍は、国史跡鞠智城 を底本として作成しました。閲覧を目的としていますので、精確な図版は発掘調査報告等、他の書籍から引用してください。

鞠智城跡の発掘調査報告は、熊本県内の市町村教育委員会と図書館、都道府県の教育委員会と図書館、考古学を教える大学、国立国会図書館などにあります。所蔵状況や利用方法は、直接、各施設にお問い合わせください。

書名：国史跡鞠智城

発行：熊本県教育委員会

〒862-8609 熊本市中央区水前寺 6 丁目 18 番 1 号

電話：096-383-1111

URL：<http://www.pref.kumamoto.jp/>

電子書籍制作日：西暦 2024 年 9 月 15 日